

(仮称)大東市立ほうじょう学園施設整備方針策定業務に係る公募型プロポーザル

技術提案書 概要版

01. 業務実施方針

a 私たちの基本的な姿勢

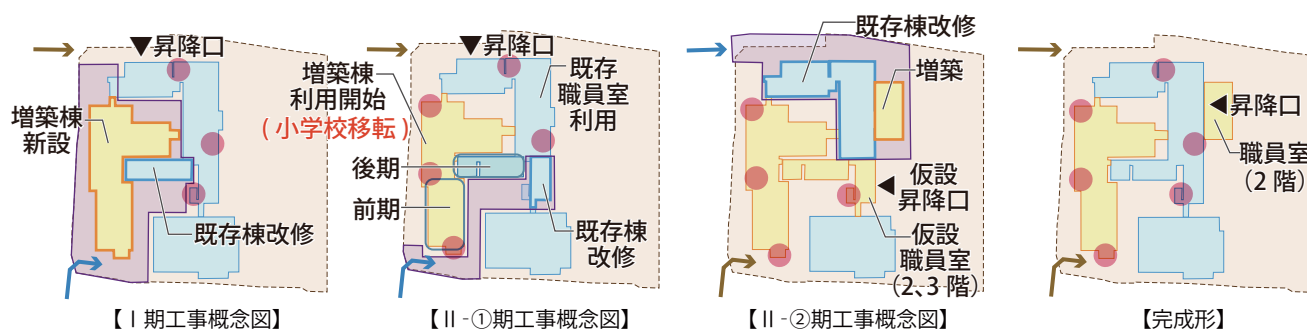
新しい学校 × ほうじょうらしさ の追及

- ・「(仮称)大東市立ほうじょう学園の設置に関する基本構想」に則ると共に、「学び合う」など大東市のこれまでの取組みをさらに進め、ひろげます。
- ・国の「学校施設整備指針」や最近の学校建築の動向などを踏まえつつ、先例に流されることなく課題の本質に切り込み、将来の学びと育ちの変化にも対応できる骨太な学校づくりをめざします。
- ・子どもたちの育つ環境を多角的に捉え、WHO(世界保健機構)が掲げる肉体的、精神的、社会的それぞれの視点で「健康な学校づくり」に取り組みます。
- ・東に飯盛山、西に大阪平野を望む歴史あるこの土地と、狭い周辺道路や隣接する北条公園という課題に向き合い、ほうじょう学園として一体となった新しい学校づくりに取り組みます。

b ローリング計画

- ・安全で豊かな学習環境と、合理的な工事仮設計画の両立

工事中の学校で学習・生活する子どもたちにとって、最終形は元よりその時点での学習環境が重要です
ローリング計画に当っては、合理的な工事仮設計画と安全で豊かな学習環境の両立に取り組みます



【ほうじょう学園におけるローリング計画の例】

〔凡例〕 ●:階段 □:工事範囲 ▲:増築棟
→:工事車両動線 →:学校動線 ■:既存棟

c 設計の進め方

- ・基本構想を補完する3つの視点

新しい学校のあり方の探求／技術的な課題の整理／公園のマスタープラン

- ・業務内容を調査、比較検討、総合化の3つのフェーズに分類し、後戻りのない確実な業務を推進します
- ・担当課・関係課会議、学校ワークショップで業務の精度を高めます
- ・アクティブプランニング：対話を重視し速やかに図面など代替案を提示
- ・フロントローディング：BIM*を活用し、発注者が余裕をもって意思決定

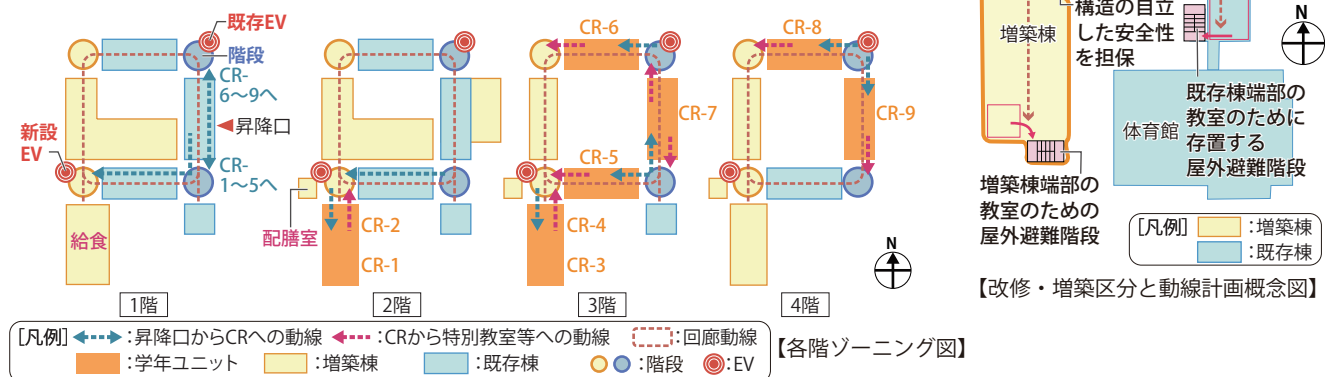
* BIM：計画案を3Dモデルで再現しながら、検討できるツール

技術提案書 概要版

02. 安全・安心

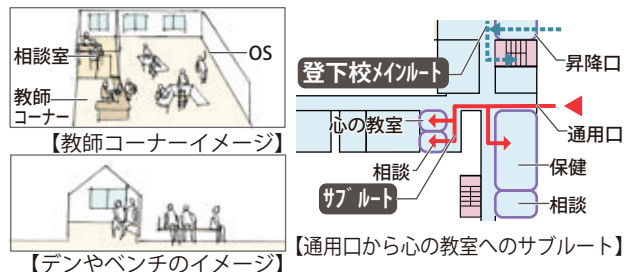
a フィジカルな視点

- ・完全2方向避難と回廊動線で避難時の高い安全性を実現します
- ・十分な離隔で、増築・既存の構造安全性を担保します
- ・中庭の設備は更新と共に移設し、新しい学校の中心空間をつくります
- ・設備幹線ルートの変更のため、綿密な設備ローリング計画を検討します
- ・高効率空調の採用や建物の高断熱化で高い省エネ性能を実現します
- ・必要な吹き抜けを設ける際は安全対策を徹底します
- ・前期と後期の体格差に配慮し、独立性の高い学年ユニットを実現します



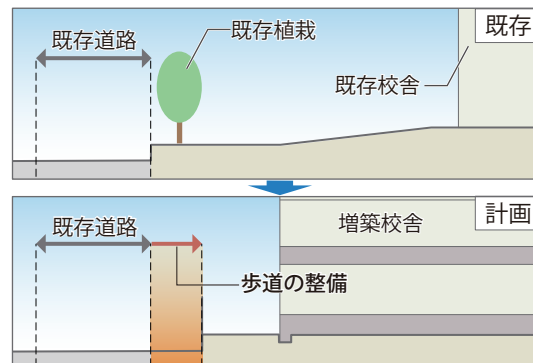
b メンタルな視点

- ・学年ユニットに教師コーナーと相談室を設け、教員と児童生徒のコミュニケーションの場とします
- ・保健室の近くには心の教室や相談室を設け、直接登校できるようにします
- ・デン*やベンチなど、ほっとできる場所をつくります
*デン：隠れ家のような小空間のこと



c ソーシャルな視点

- ・西側道路を拡幅し、学校と地域の安全性を高めます
- ・被災後は南通用門からの避難所エリアと、正門からの学校エリアは並立できます
- ・2階職員室から、グラウンドや登下校の様子が見渡せます
- ・車両は南通用門から入り、歩車分離で児童生徒の安全性を確保します
- ・民間プール利用時のバスの乗降スペースと旋回スペースを設けます

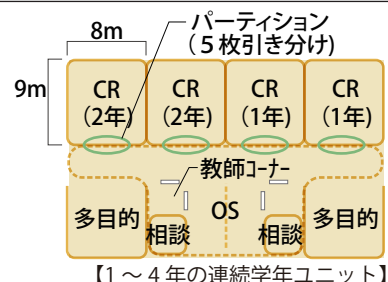


技術提案書 概要版

03. 子どもたちをワクワクさせる学習空間

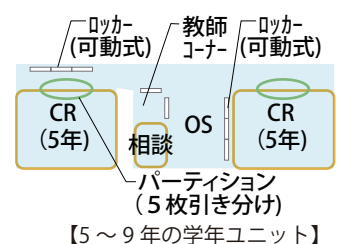
a 学年ユニット

- ・まとまりのある学年ユニットは、学びの展開や学びの継続性を実現します
- ・OS（オープンスペース）はCR（普通教室）との一体利用ができ、様々な家具を配置して学びを多様化します
- ・教師コーナーは教材や情報の拠点で、相談室と共にコミュニケーションの場となります



b 多目的室などの多機能空間

- ・多目的室を分散して配置し、学びの可能性をひろげ、登校しづらい子どもの居場所、特別支援のインクルーシブへの取組みを補完します
- ・特別教室やソトの教室も多目的に利用します

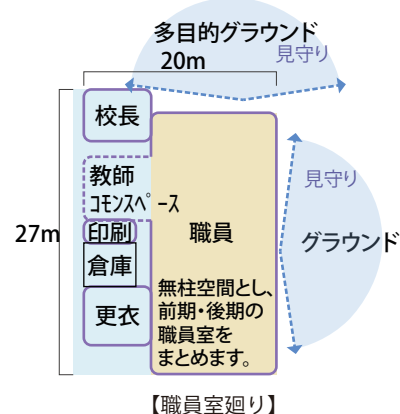


c 特別支援教室

- ・多様性の中のインクルーシブを重視した個別対応可能な大小さまざまな教室を備えます

d 管理諸室の集約

- ・グラウンドに面した2階に集約します
- ・教師コモンスペースは児童生徒や保護者とのコミュニケーションの場となります



e ラーニングスクエア

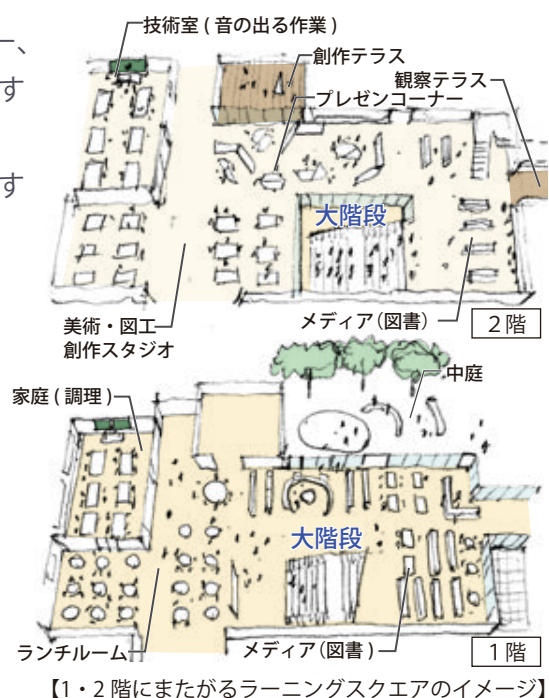
- ・ラーニングスクエアは、メディア（図書）、プレゼンコーナー、大階段、中庭で構成される、ほうじょう学園の中心空間です
- ・特別教室廻りの教科メディアで教科の魅力を伝えます
- ・中庭、観察テラス、ソトの教室は学びを屋内外にひろげます

f 地域連携

- ・地域支援室から、学校支援やまちづくり活動に展開します
- ・ランチルームや大階段で、地域イベントや地域のおとなによるキャリア教育ができます

g 北条公園

- ・市民と共に森を育てるなど、新しい取組みにチャレンジします
- ・地域全体に学習環境を広める「ほうじょう学園全体構想」につなげます

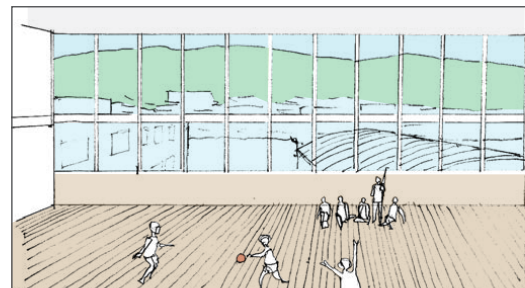


技術提案書 概要版

04. 9年間の連続した学び

a 学年段階の区切り

- ・回廊と四隅の階段で学年ユニットをつなぎ、学年段階の区切りを柔軟に設定できます
- ・学年段階の区切りでまとまりのある学年配置とします
- ・区切りの差異をバランスよく設定できる柔軟性と、個別に補う多様性を内包します



【飯盛ホールから望む飯盛山のイメージ】

b 学習環境の独立性と共用性

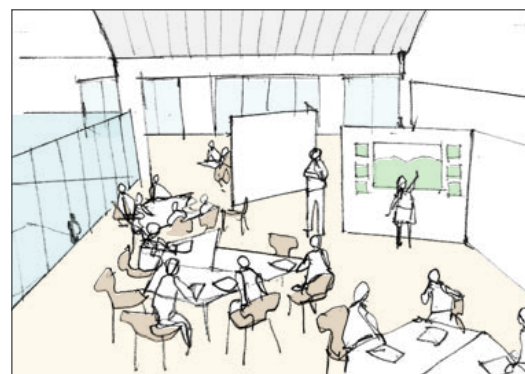
- ・学年ユニットは独立性を大切にし、学年としての取組みを積み上げます
- ・ラーニングスクエアや特別教室は共用性を重視し、共に学べる空間とします



【大階段での発表のイメージ】

c 異学年交流

- ・全児童・生徒が1つの昇降口を利用し、挨拶を交わす関係を大切にします
- ・昇降口正面のラーニングセンターやランチルーム、創作スタジオはオープンな連続空間で異学年交流の場となります



【2階プレゼンコーナーのイメージ】

d 地域学習への取り組み

- ・プレゼンコーナーは、グループワークに適した家具や、移動可能なホワイトボードを設置して、対話や発表の場となります
- ・掲示壁は、地域の歴史や地理の資料が年ごとに重なり、学びをつなぎます



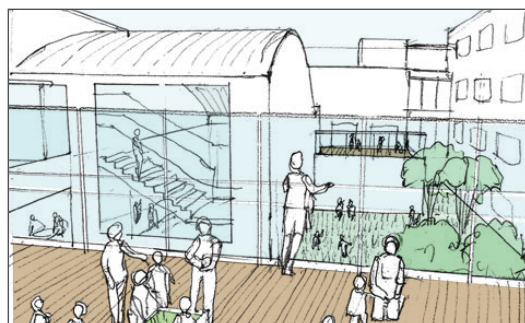
【メディア（図書）での異学年交流のイメージ】

e 情報活用能力の育成

- ・教科メディアの標本や生物飼育の展示など、興味をひろげ学びを深めます
- ・図書館司書による情報活用へのサポートも期待できます

f 環境性能

- ・良好な通風・採光環境を確保します
- ・CRは南面・東面とし、西面は外付縦ルーバーで西日対策を行います



【屋内外をつなぐラーニングスクエアのイメージ】

技術提案書 概要版

既存校舎の最大限の活用と最適な増築による平面計画の一例



【各階平面概念図】

[凡例] 普通教室など : 特別教室 : 支援教室・通級教室 : 管理諸室
 増築棟 : 既存棟 : ラーニングスクエア